

## 実践事例

### 1 実践の概要

#### (1) 取組みのねらい

- いじめ防止のための全校集会を通していじめ防止を推進し、人権意識を高揚する。

#### (2) 取組みの内容

- いじめ防止のための全校集会を開催し、以下の内容を指導する。
  - ・ いじめの定義について
  - ・ いじめる人の心の状態について（誰にでもあることの意味）
  - ・ いじめられる人の悲劇について（一生深い傷を負わせることの意味）
  - ・ いじめが犯罪であるということについて
  - ・ 最近の事件や問題から自分達の生活を振り返る。
  - ・ 同調する子、見て見ぬふりをする子がいじめを許さない子になるために
  - ・ わたし達の心にある「みにくい心」とたたかい「すばらしい心」を強くすることでクラスを、中を明るく楽しく生活できる場としていこうと呼びかける。
- 全校集会を受けて各学級で追指導を行うとともに、全校生に感想文を書かせる。
  - ・ 感想文の中から優秀なものを選び、全校放送などをおして紹介する。その際、「すばらしい心」を讃え、みんなで広めていこうと呼びかける。
- 定期的に迷惑調査を行い、いじめや人間関係のトラブル、生活上の諸問題についての情報を把握し、生徒指導委員会、学年委員会、職員会議等を等して組織的に対応する。

### 2 実践の成果（態度・心情面やいじめの解決など）

- 人間関係が良好になり、学校全体が良くなってきていることが次の点から考えられる。
  - ・ 欠席者の数が減った。
  - ・ おびえた表情の生徒がほとんど見られなくなった。
  - ・ ケンカや器物破損等の悪質なイタズラが急激に減った。
  - ・ 金品を盗まれたり、持ち物を隠されるなどの陰湿な行為がほとんど無くなった。
  - ・ 校内で騒いだりする生徒が減り、授業中は授業の私語が減った。
  - ・ 無言清掃がしっかりできるようになった。

- ・ 全校集会等で、黙って真剣に話を聞くことができるようになった。
- ・ 服装面で注意させる生徒がほとんど居なくなった。
- ・ あいさつがだんだん元気になってきた。
- ・ 保護者や地域の人々からの本校生の態度に関する苦情がほとんど無くなった。(逆に、本校生を讃える声が聞かれるようになってきた。)
- ・ 物を破損したことなどを正直に申し出ることの出来る生徒が増えてきた。

○ 教師の指導力が向上してきた。

- ・ 「納得と説得の生徒指導」という合い言葉が定着してきた。
- ・ 生徒を大声で怒鳴るような指導から、良いところを見つけて励ます指導が多く見られるようになってきた。
- ・ 小さな事を見逃さないで指導するようになった。
- ・ 道徳の授業について職員室で話題とすることが多くなってきた。
- ・ 生徒会活動をとおして生徒を活躍させようとする働きかけが多くなってきた。
- ・ 生徒の宿題や課題にていねいに目を通す教師が増えてきた。
- ・ 教師同士が助け合い、協力し合うことが生徒たちにとって何よりのモデルであるという意識を持って教育活動を展開するようになってきた。
- ・ 生徒指導のことでこれまで以上に保護者とこまめに連絡を取り合うようになってきた。

3 取組みの評価 (対応についての評価)

○ 「いじめを許さない」という取組みそのものが学校全体を本来あるべき姿にしている。

- ・ 競争原理ではなく協力原理を前面に打ち出すことで、どの生徒も、どの教師も安心して学校生活を送れることになり、そのことが規則を守ることの意義や、助け合うことの喜びなどをもたらすきっかけとなっている。

4 実践に関する資料 (学習カード等)

○ 別紙のとおり (「いじめ防止の全校集会」で用いた資料)

# いじめ問題を考えよう！

教育相談部

## 1. いじめとは 特定の人にたいして継続して苦痛を与える行為

- **暴力的** 暴力(なぐる、ける、ころぼす、ふくろ) 脅迫(きょうはく) 金銭強要 カンパ ばしり カバンを持たせる 万引きをさせる
- **物理的** 持ち物をかくす、こわす、よごす(くつ、かさ、文房具など) らくがき、あいての金、物を盗む 押し売り
- **心理的** 仲間はずし 無視(しかと)する ひやかす、からかう、悪口 馬鹿にする いやがるあだ名 いやがらせの電話、メール、手紙

- ・いじめる人がいるから「いじめ」は起きる
- ・いじめをするのは特別な人だろうか？
- ・どんな人間にもひそむ「醜い心」 快感へ

## 2. いじめる人の心について 誰にでもある！

<いじめる人のタイプ>

- **気分型** : むしゃくしゃして…(実はその人にもいじめやストレスがある)
- **トラブル型** : ちょっとしたけんかから発展して…(よくありますよね)
- **復しゅう型** : 前にあったこと、されたことをうらんで…
- **非行型** : 悪い行動(迷惑)を続けていくうちに…自己中心な考え方に
- **指導型** : 能力の劣った人へ、注意の度がすぎると…
- **ゲーム型** : 「～しろよ！」王様ゲーム？遊びでいやがることをさせて喜ぶ

↓

<共通していること>

- ▲ 相手の辛い気持ちが考えられない、自己中心の考え
- ▲ 都合のいい理由をつける 「だって・・・だから」等
- ▲ 心のなかで相手を(知れず)差別している 「あいつは・・・より・・・だから」等
- ▲ いじめて快感を味わっている 困ったり苦しんでいるのを喜んでいる
- ▲ 仲間(同調者)を作りたがる

そして これらの悪い点に**気づかない、やめられない**

**はじめは → だんだんひどくなる**

軽い気持ち

ちょっとおどしてみたい  
ちょっとこまらせてみたい

→いじめ→快感→ひどいいじめへ  
→仲間作り

## 3. いじめられる人の悲劇 (自殺だけじゃない → 精神的に 身体的に)

### 第1段階

(重い気分) → がまん

- ・学校に行きたくない
- ・相手に会いたくない
- ・いつも不安な気持ち
- ・勉強が手につかない
- ・ご飯を食べたくない
- ・眠れない、うなされる

### 第2段階

(絶望感) → がまんが限界

- ① 相手がいなくなれば  
いいのに・・・
- ② 苦しむのはもうイヤ!  
こんな自分がイヤ!
- ③ 何もしたくない!  
学校なんてどうでもいい

### 第3段階

→ (最悪の状態)

殺人

自殺

不登校  
(心の病気も)

どんな場合でも **一生 心に深い傷が残る！**

★あなたは*いじめた*相手がこうなったら責任をとれますか？

## 4. いじめは犯罪です！ 「いじめた人が受ける罰は…」

## 5. 最近の事件や問題から…

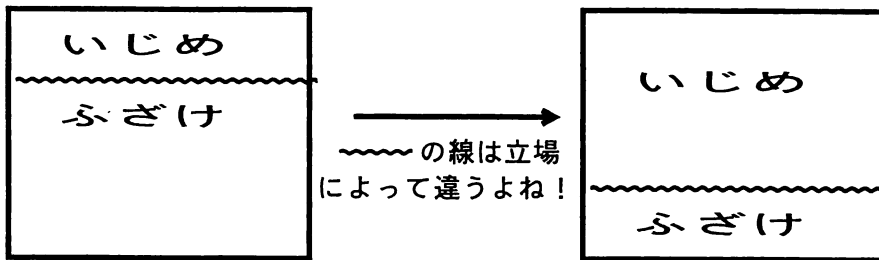
## 君達のまわりではありませんか？

- ・ からかい、仲間外し、荒っぽい言葉遣い、あだ名、悪口、メール、手紙、等々
- ・ プロレスごっこ、遊びの中で、相手がいやがるのをみて喜ぶ…等々
- ・ 弱い子、おとなしい子に、いやなことを押しつける 欠点をバカにする 等々

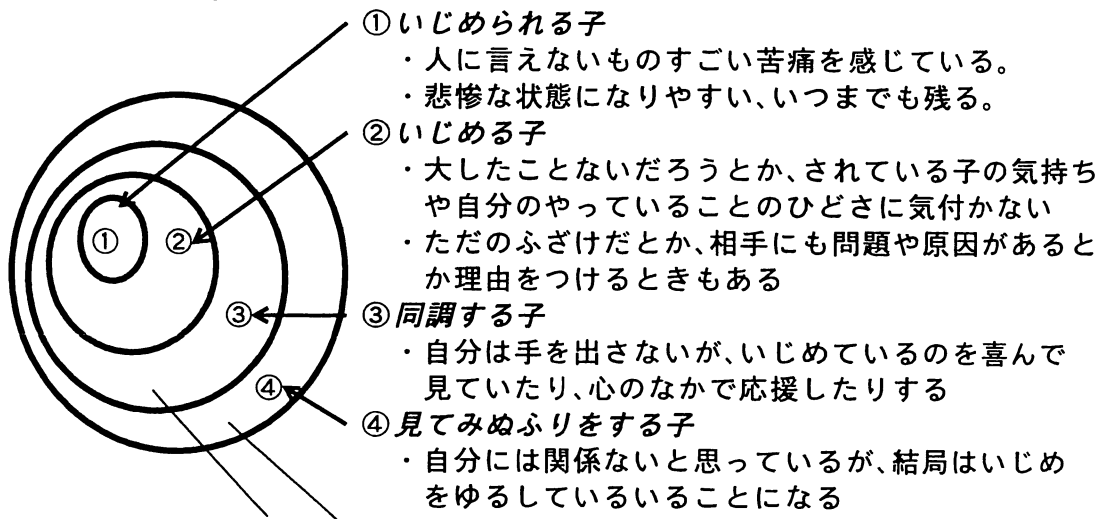
## 6. いじめか いじめでないかの判断は誰がきめるの？

<いじめめる側>

<いじめられる側>



## 7. いじめの関係



いじめをなくすために③と④の人が

### ⑤ いじめを許さない子になること

- ・ やっている本人に忠告する
- ・ 先生や親やまわりの人に知らせる
- ・ いじめられている人をささえてあげる

## 8. わたしたちはどうすればいいのか

- ☆ 私たちの心にある「すばらしい心」… 豊かな生活の中でかくれてしまった心 飢えに苦しむアフリカの子ども達から
- ☆ 自分のなかの「みにくい心」とたたかい「すばらしい心」を強くすること

- ・ 一人一人が「いじめをしない、許さない」決意をもつ！
- ・ 「沈黙は共犯」みつけたらすぐに知らせよう！（まわりが教えてあげないと）
- ・ 私たちの中にある「差別」「わがまま」をやめ、相手の立場に立とう！
- ・ 「思いやり」と「一肌脱ぐ心」を大切にしよう！

私たち一人ひとは どんなことができるか？

クラスで、学校全体でどんなことができるか？

明るく楽しく生活できる

をつくろう！